

平成29年度金融庁調達改善計画の概要

現状分析

・平成27年度における金融庁の調達

●契約種別（単位：件、百万円）

契約方式		件数	金額
競争性あり	競争入札	113	1,939
	企画競争	9	83
	公募	32	457
	不落・不調	2	3
競争性のない随契		50	528
合計		206	3,011

●応札状況（単位：件、百万円）

	一者応札件数 (割合)	一者応札金額 (割合)
競争入札	41 (36.3%)	1,301 (67.1%)

<一者応札に至った主な要因>

- ①入札時期、契約時期及び納入時期に起因する業者の要員不足
- ②調達内容や入札参加要件に関する説明不足及びそれに起因する業者の理解不足
- ③業者に入札参加を促す働きかけの不足

●調達経費の内訳（単位：件、百万円）

	契約件数	金額
システム関係費	93	2,388
物品製造・購入費	32	185
委託調査費	15	71
その他	66	367
合計	206	3,011

調達改善の主な取組内容

重点的な取組

- 公募への移行と価格交渉実施の検討
 - ・複数年度にわたり同一事業者による一者応札が継続している場合
⇒公募への移行を検討
 - ・公募に移行した場合
⇒適切な仕様・調達予定金額とするため価格交渉の実施を検討

共通的な取組

- 一者応札の事前審査・事後審査の実施・強化
 - ・事前審査の実施(仕様・調達予定金額の適正性審議)
 - ・事後審査の実施(アンケート調査)及び改善策の提示
-必要に応じて以後の仕様書に反映

その他の取組

- ①情報システムに関する取組
 - ・目的・用途と仕様の内容の適正性審査
-CIO補佐官等による審査を実施
 - ・調達後の必要に応じた改善の実施、次回調達への反映
 - ・システム監査計画に基づく検証、システム投資の妥当性・有効性の検証
- ②随意契約に関する取組
 - ・少額な契約への対応
-オープンカウンターの活用
- ③汎用的な物品・役務に関する取組
 - ・共同調達の実施
 - ・発注単位の集約
- ④クレジットカード決済に関する取組
 - ・クレジットカード決済の実施
-海外出張経費の精算やETCカードでの高速料金の支払いをクレジットカード決済で行う
- ⑤その他の取組
 - ・メールマガジンによる情報発信
 - ・研修の実施

自己評価

- ・上半期(4～9月)終了後及び年度終了後に実施
- ・自己評価結果をその後の調達改善の取組や調達改善計画の策定に反映

推進体制等

推進体制

総括審議官を統括責任者とする「行政事業レビュー推進チーム」が調達改善を推進

外部有識者の活用

行政事業レビュー及び契約監視委員会の外部有識者の意見を活用

内部監査の活用

内部会計監査において、調達改善計画の進捗状況を監査項目とし、検証や評価を行う